



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月7日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL https://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078)303-5620
 定時株主総会開催予定日 2021年6月22日 配当支払開始予定日 2021年6月23日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有(動画配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	40,575	△10.0	2,293	△33.8	2,558	△28.5	1,596	△22.7
2020年3月期	45,068	△2.7	3,465	△11.2	3,577	△12.7	2,065	△17.5
(注) 包括利益	2021年3月期 3,707百万円(48.9%)		2020年3月期 2,490百万円(217.0%)					

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	48.87	—	3.7	4.4	5.7
2020年3月期	60.99	—	4.8	6.1	7.7
(参考) 持分法投資損益	2021年3月期 △4百万円		2020年3月期 △2百万円		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	58,572	46,365	75.8	1,365.41
2020年3月期	58,653	44,780	72.9	1,262.02
(参考) 自己資本	2021年3月期 44,402百万円		2020年3月期 42,756百万円	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	5,290	△2,072	△3,055	16,268
2020年3月期	1,832	△2,558	△2,746	16,108

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
2020年3月期	—	10.00	—	16.00	26.00	880	42.6	2.0
2021年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	650	40.9	1.5
2022年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		38.3	

2020年3月期配当金の内訳 安定配当20円 業績連動配当2円 記念配当4円

2021年3月期配当金の内訳 安定配当20円

2022年3月期配当金(予想)につきましては、4ページ(5)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当に記載のとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	42,000	3.5	2,550	11.2	2,600	1.6	1,700	6.5	52.23

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2021年3月期	34,536,635株	2020年3月期	34,536,635株
2021年3月期	2,017,212株	2020年3月期	657,114株
2021年3月期	32,673,357株	2020年3月期	33,874,001株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	28,629	△9.7	983	△38.4	1,448	△27.9	1,067	△31.1
2020年3月期	31,713	△3.4	1,597	3.7	2,008	△0.7	1,549	2.1

	1株当たり当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
2021年3月期	32	67	—	—
2020年3月期	45	75	—	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2021年3月期	40,944		33,953		82.9	1,044	11	
2020年3月期	40,008		32,709		81.8	965	48	

(参考) 自己資本 2021年3月期 33,953百万円 2020年3月期 32,709百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・当社は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、従来開催しておりました機関投資家向け決算説明会に代えて、決算説明動画および決算補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13
4. 個別財務諸表	14
(1) 貸借対照表	14
(2) 損益計算書	16
(3) 株主資本等変動計算書	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く環境は、第1四半期連結会計期間では新型コロナウイルス(COVID-19)の世界的な感染拡大による大幅な経済活動の落ち込みがありました。第2四半期連結会計期間以降は経済活動の再開により回復の兆しが見られております。しかしながら、各国におけるワクチン普及のペースや財政出動の規模により回復の速度には国・地域ごとで差が見られ、また、ウイルスの新たな変異株の発生と拡大によって大幅な景気下振れが想定されるなど、依然として先行きは不透明な状況が継続しています。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、モノ・ヒト両面を通じて「お客さまとのつながり」をより一層強める活動を行っており、2020年12月10日に、新研究開発拠点「ナレッジスクエア」をグランドオープンしました。多種多様な人々や情報が集い、新しい価値を共に創り出す「共創」の場として活用を開始しております。国内では、引き続き警戒の必要な自然災害への対策や、新たな社会・生活様式に沿った価値の提供を展開しております。具体的にはパーティション取付型会話補助システムやハンズフリー拡声器、“密”回避を目的とした混雑状況配信ソリューションの提供などのラインナップを軸に、新たな社会・生活様式におけるコミュニケーションの課題解決に貢献してまいりました。

また、世界5地域でのマーケティング活動の効率を高めるため、新たなシステム基盤を導入・稼働し、それぞれの市場環境に応じてユーザーの満足度をより高いレベルで実現させる取り組みを進めてまいりました。新型コロナウイルスの感染拡大を受けた環境下においても、多様な働き方やデジタルツールへの投資等を通じて、継続した事業活動とその効率化を推進しております。

しかしながら、世界的な経済活動の停滞の影響を受け、当期の売上高は40,575百万円（前年同期比△4,493百万円、10.0%減）となりました。利益については、販売費及び一般管理費は削減しましたが、営業利益は2,293百万円（前年同期比△1,171百万円、33.8%減）、経常利益は2,558百万円（前年同期比△1,019百万円、28.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,596百万円（前年同期比△469百万円、22.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は27,562百万円（前年同期比△1,850百万円、6.3%減）、セグメント利益（営業利益）は6,139百万円（前年同期比△635百万円、9.4%減）となりました。

鉄道車両向けの出荷や、減災・防災市場等の官公需向けの販売は伸長しましたが、経済活動の停滞の影響により民需が低迷したことを受け、セグメント全体では売上高は減少しました。原価率の改善や販売費及び一般管理費の減少はありましたが、減収によりセグメント利益は減少しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は5,927百万円（前年同期比△1,528百万円、20.5%減）、セグメント利益（営業利益）は1,010百万円（前年同期比△362百万円、26.4%減）となりました。

ベトナムでは官公庁向け大型案件等の納入が進むなど、販売は伸長しました。インドネシアやマレーシアでは一部大型案件の納入はありましたが、経済活動停滞の影響により、特に重点市場である宗教施設市場向けの販売が低迷し、売上高は減少しました。タイでの販売も低迷し、セグメント全体での売上高は減少しました。販売費及び一般管理費の減少はありましたが、減収によりセグメント利益は減少しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は3,895百万円（前年同期比△486百万円、11.1%減）、セグメント利益（営業利益）は313百万円（前年同期比△199百万円、39.0%減）となりました。

第4四半期連結会計期間において、回復の兆しは見られたものの、欧州主要国、中東、南アフリカでの経済活動の停滞の影響により、売上高、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は1,640百万円（前年同期比△507百万円、23.6%減）、セグメント利益（営業利益）は33百万円（前年同期比△104百万円、75.5%減）となりました。

アメリカでは、複数の大型案件の納入が進みましたが、小売店向けの音響機器の販売が伸び悩み、売上高は減少しました。カナダでの教育市場向けの販売は伸長しましたが、為替円高による影響で売上高は減少しました。セグメント全体での減収により、セグメント利益は減少しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,549百万円（前年同期比△120百万円、7.2%減）、セグメント利益（営業利益）は165百万円（前年同期比△15百万円、8.7%減）となりました。

香港や台湾では複数の大型案件の納入が進み、販売は伸長しました。中国でも、一部官公庁向け大型案件等の納入が進みましたが、販売全体が伸び悩み、売上高、セグメント利益は減少しました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は58,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円の減少となりました。資産の部は、投資有価証券の評価替えなどによる増加はありましたが、売上債権やたな卸資産の減少などにより減少しました。負債及び純資産の部は、その他有価証券評価差額金の増加などありましたが、仕入債務の減少や自己株式の取得などにより減少しました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は16,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ160百万円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前当期純利益2,547百万円、減価償却費1,445百万円、売上債権の減少額1,149百万円、たな卸資産の減少額1,056百万円などにより、営業活動による資金の増加は5,290百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

生産・開発設備の取得による支出2,011百万円などにより、投資活動による資金の減少は2,072百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払1,006百万円や自己株式取得による支出1,005百万円や短期借入金の減少△592百万円などにより、財務活動による資金の減少は3,055百万円となりました。

(4) 今後の見通し

次期より当社の将来の目指す姿として2030年を見据えた経営ビジョン「Dr. Sound ー社会の音を良くするプロフェッショナル集団ーになる」を掲げ、その実現に向けた活動をスタートいたします。これまで当社が提供してきた屋内外の各種環境や人々の多様性に応じた「聴こえる音、聴き取り易い音」に加え、私たちを取り巻くパブリック空間の音＝「社会の音」がもたらす人々の安心・信頼・感動の体験そのものの創出に、よりアプローチできる価値の実現・提供を進めていくことで、お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現していく姿を目指します。

特に直近の2年間である2021年度および2022年度においては、こうした経営ビジョン実現に向けた体制を早期に実現するべくグローバルでの収益力・競争力の向上と新たな成長基盤の構築を推進してまいります。

詳細につきましては、同日開示いたしました「経営ビジョン2030策定のお知らせ」をご参照ください。

これにより、現時点での2022年3月期の連結業績の見通しにつきましては、売上高42,000百万円、営業利益2,550百万円、経常利益2,600百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,700百万円を予想しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染拡大や収束の状況等によって業績は大きく変動する可能性があります。当社の業績に重大な影響を及ぼす変化が観察された場合、改めてお知らせいたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆さまへの利益還元の充実を経営の優先課題の一つとして位置づけております。

利益配分に関しましては、安定的な配当を基本におくとともに、業績を勘案しつつ株主の皆さまへの利益還元を図ってまいります。また、内部留保にも意を配り、長期的に安定した経営基盤を確保するとともに、積極的な研究開発投資を行い会社の競争力を高め、財務体質の強化を図ることにより、企業価値の向上に努めてまいります。

さらに、業績に連動した配当を行うことをより明確にするため、年間20円（中間配当10円および期末配当10円）の配当を維持することを基本として業績を加味し、連結配当性向35%を目安に、持続的な成長を可能とする内部留保とのバランスを総合的に勘案して決定いたします。

当期における1株当たり配当金は、年間20円（安定配当20円）を予定しております（内10円の配当を中間配当で実施済）。また、次期の1株当たり配当金は、年間で安定配当20円（中間配当10円および期末配当10円）に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,610	16,838
受取手形及び売掛金	10,312	9,095
有価証券	1,200	—
商品及び製品	6,845	6,242
仕掛品	1,045	554
原材料及び貯蔵品	3,065	2,916
その他	880	728
貸倒引当金	△75	△53
流動資産合計	38,885	36,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,159	10,659
減価償却累計額	△3,922	△4,215
建物及び構築物(純額)	6,237	6,443
機械装置及び運搬具	1,590	1,659
減価償却累計額	△1,225	△1,250
機械装置及び運搬具(純額)	365	409
工具、器具及び備品	3,933	3,831
減価償却累計額	△3,281	△3,247
工具、器具及び備品(純額)	651	583
土地	2,451	2,453
リース資産	1,433	1,563
減価償却累計額	△598	△723
リース資産(純額)	835	839
建設仮勘定	38	19
有形固定資産合計	10,579	10,749
無形固定資産		
のれん	507	444
ソフトウェア	721	628
ソフトウェア仮勘定	149	52
その他	220	221
無形固定資産合計	1,599	1,347
投資その他の資産		
投資有価証券	6,163	9,073
繰延税金資産	334	326
退職給付に係る資産	7	3
その他	1,085	752
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	7,589	10,154
固定資産合計	19,768	22,250
資産合計	58,653	58,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,409	2,704
短期借入金	1,915	1,271
リース債務	236	273
未払法人税等	332	261
賞与引当金	157	150
製品保証引当金	19	36
その他	3,112	2,062
流動負債合計	9,183	6,759
固定負債		
リース債務	647	638
繰延税金負債	466	1,560
退職給付に係る負債	2,841	2,504
その他	734	743
固定負債合計	4,689	5,447
負債合計	13,872	12,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,058	5,061
利益剰余金	30,236	30,819
自己株式	△385	△1,370
株主資本合計	40,189	39,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,682	5,708
為替換算調整勘定	△1,009	△1,168
退職給付に係る調整累計額	△104	72
その他の包括利益累計額合計	2,567	4,611
非支配株主持分	2,024	1,962
純資産合計	44,780	46,365
負債純資産合計	58,653	58,572

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	45,068	40,575
売上原価	24,983	23,266
売上総利益	20,085	17,308
販売費及び一般管理費	16,620	15,014
営業利益	3,465	2,293
営業外収益		
受取利息	43	28
受取配当金	95	99
受取保険金及び配当金	23	44
助成金収入	—	130
その他	99	94
営業外収益合計	261	398
営業外費用		
支払利息	72	65
為替差損	46	43
持分法による投資損失	2	4
その他	27	20
営業外費用合計	149	133
経常利益	3,577	2,558
特別利益		
補助金収入	120	—
特別利益合計	120	—
特別損失		
解体撤去費用	168	11
関係会社清算損	232	—
特別損失合計	401	11
税金等調整前当期純利益	3,297	2,547
法人税、住民税及び事業税	915	658
法人税等調整額	61	134
法人税等合計	976	793
当期純利益	2,320	1,754
非支配株主に帰属する当期純利益	254	157
親会社株主に帰属する当期純利益	2,065	1,596

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	2,320	1,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	431	2,026
為替換算調整勘定	△139	△248
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
退職給付に係る調整額	△121	175
その他の包括利益合計	170	1,953
包括利益	2,490	3,707
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,228	3,641
非支配株主に係る包括利益	261	66

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,279	6,866	29,050	△394	40,802
当期変動額					
剰余金の配当			△880		△880
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,065		2,065
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		13		9	22
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△1,821			△1,821
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△1,807	1,185	8	△613
当期末残高	5,279	5,058	30,236	△385	40,189

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,250	△868	23	2,404	2,481	45,689
当期変動額						
剰余金の配当						△880
親会社株主に帰属する 当期純利益						2,065
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						22
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						△1,821
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	431	△140	△127	162	△457	△294
当期変動額合計	431	△140	△127	162	△457	△908
当期末残高	3,682	△1,009	△104	2,567	2,024	44,780

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,279	5,058	30,236	△385	40,189
当期変動額					
剰余金の配当			△1,013		△1,013
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,596		1,596
自己株式の取得				△1,005	△1,005
自己株式の処分		2		20	22
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	583	△984	△398
当期末残高	5,279	5,061	30,819	△1,370	39,790

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,682	△1,009	△104	2,567	2,024	44,780
当期変動額						
剰余金の配当						△1,013
親会社株主に帰属する 当期純利益						1,596
自己株式の取得						△1,005
自己株式の処分						22
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動						—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	2,026	△159	176	2,044	△61	1,983
当期変動額合計	2,026	△159	176	2,044	△61	1,584
当期末残高	5,708	△1,168	72	4,611	1,962	46,365

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,297	2,547
減価償却費	1,437	1,445
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	27	△66
受取利息及び受取配当金	△139	△128
為替差損益(△は益)	△17	9
持分法による投資損益(△は益)	2	4
支払利息	72	65
補助金収入	△120	—
助成金収入	—	△130
売上債権の増減額(△は増加)	△19	1,149
たな卸資産の増減額(△は増加)	△975	1,056
仕入債務の増減額(△は減少)	△667	△652
未払金の増減額(△は減少)	△85	85
その他	67	345
小計	2,878	5,731
利息及び配当金の受取額	133	137
利息の支払額	△72	△62
助成金の受取額	—	130
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,106	△645
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,832	5,290
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△595	△696
定期預金の払戻による収入	744	810
有形固定資産の取得による支出	△2,391	△2,011
有形固定資産の売却による収入	6	24
無形固定資産の取得による支出	△243	△209
その他	△79	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,558	△2,072
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	986	△592
自己株式の取得による支出	△0	△1,005
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△315	△313
配当金の支払額	△879	△1,006
非支配株主への配当金の支払額	△78	△137
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△2,458	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,746	△3,055
現金及び現金同等物に係る換算差額	△78	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,552	160
現金及び現金同等物の期首残高	19,660	16,108
現金及び現金同等物の期末残高	16,108	16,268

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に音響機器・映像機器等を生産・販売しており、国内においては当社及び国内子会社が、海外においてはアジア、欧州、アメリカ等の各地域を現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域において包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア・パシフィック」、「欧州・中東・アフリカ」、「アメリカ」、「中国・東アジア」の5つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。また、報告セグメントの利益は営業利益の数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務 諸表計上額
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	29,412	7,455	4,381	2,148	1,670	45,068	—	45,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,942	109	15	9	33	4,110	△4,110	—
計	33,354	7,565	4,397	2,157	1,704	49,179	△4,110	45,068
セグメント利益 (営業利益)	6,775	1,373	513	138	181	8,980	△5,515	3,465
セグメント資産	34,400	4,403	5,261	1,592	2,400	48,058	10,595	58,653
その他の項目								
減価償却費	762	117	103	18	61	1,062	375	1,437
のれんの償却額	—	30	6	—	—	37	—	37
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	2,928	259	307	91	106	3,693	450	4,144

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,515百万円には、セグメント間取引消去49百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,564百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産の調整額10,595百万円には、セグメント間取引消去△668百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産11,264百万円が含まれております。全社資産は、主に当社の長期投資資金(投資有価証券)と本社部門等に係る資産等であります。

4. 減価償却費の調整額375百万円は、主として本社部門等に係る減価償却費であります。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額450百万円は、主として本社部門等に係る投資であります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務 諸表計上額
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,562	5,927	3,895	1,640	1,549	40,575	—	40,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,589	77	16	4	24	2,713	△2,713	—
計	30,151	6,005	3,911	1,645	1,574	43,288	△2,713	40,575
セグメント利益 (営業利益)	6,139	1,010	313	33	165	7,662	△5,368	2,293
セグメント資産	31,425	3,705	5,350	1,501	2,594	44,577	13,995	58,572
その他の項目								
減価償却費	850	108	103	15	55	1,134	311	1,445
のれんの償却額	—	30	5	—	—	36	—	36
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	930	43	113	5	84	1,178	362	1,540

- (注) 1. セグメント利益の調整額△5,368百万円には、セグメント間取引消去36百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△5,405百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額13,995百万円には、セグメント間取引消去△456百万円及び各報告セグメントに配分していない全社資産14,451百万円が含まれております。全社資産は、主に当社の長期投資資金(投資有価証券)と本社部門等に係る資産等であります。
4. 減価償却費の調整額311百万円は、主として本社部門等に係る減価償却費であります。
5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額362百万円は、主として本社部門等に係る投資であります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,262.02円	1,365.41円
1株当たり当期純利益	60.99円	48.87円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	2,065	1,596
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,065	1,596
普通株式の期中平均株式数(株)	33,874,001	32,673,357

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,576	7,535
受取手形	2,104	1,939
売掛金	5,470	4,939
有価証券	1,200	—
製品	3,466	2,364
仕掛品	80	107
原材料及び貯蔵品	262	253
前払費用	155	143
その他	293	226
貸倒引当金	△53	△30
流動資産合計	19,556	17,480
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,710	4,799
構築物（純額）	161	343
機械及び装置（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	429	406
土地	2,217	2,217
リース資産（純額）	8	6
建設仮勘定	28	12
有形固定資産合計	7,557	7,786
無形固定資産		
ソフトウェア	594	542
ソフトウェア仮勘定	149	52
リース資産	—	35
その他	64	59
無形固定資産合計	809	689
投資その他の資産		
投資有価証券	6,161	9,071
関係会社株式	4,949	4,949
関係会社出資金	670	670
その他	303	297
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,084	14,988
固定資産合計	20,451	23,464
資産合計	40,008	40,944

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,580	1,443
リース債務	2	10
未払金	1,629	414
未払法人税等	229	101
未払費用	480	340
その他	85	450
流動負債合計	4,008	2,762
固定負債		
リース債務	6	30
退職給付引当金	2,174	2,075
繰延税金負債	513	1,524
その他	595	596
固定負債合計	3,289	4,228
負債合計	7,298	6,990
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金		
資本準備金	6,808	6,808
その他資本剰余金	13	15
資本剰余金合計	6,822	6,824
利益剰余金		
利益準備金	679	679
その他利益剰余金		
別途積立金	2,930	2,930
繰越利益剰余金	13,701	13,901
利益剰余金合計	17,311	17,511
自己株式	△385	△1,370
株主資本合計	29,027	28,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,682	5,708
評価・換算差額等合計	3,682	5,708
純資産合計	32,709	33,953
負債純資産合計	40,008	40,944

(2) 損益計算書

	(単位：百万円)	
	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	31,713	28,629
売上原価	19,154	17,537
売上総利益	12,558	11,092
販売費及び一般管理費	10,960	10,108
営業利益	1,597	983
営業外収益		
受取利息及び配当金	417	417
雑収入	66	60
営業外収益合計	484	478
営業外費用		
支払利息	5	7
為替差損	62	0
雑損失	5	5
営業外費用合計	73	13
経常利益	2,008	1,448
特別利益		
補助金収入	120	—
特別利益合計	120	—
特別損失		
解体撤去費用	168	11
特別損失合計	168	11
税引前当期純利益	1,960	1,437
法人税、住民税及び事業税	387	242
法人税等調整額	23	127
法人税等合計	410	370
当期純利益	1,549	1,067

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	繰越利益 剰余金	
					別途積立金			
当期首残高	5,279	6,808	0	6,808	679	2,930	13,032	16,642
当期変動額								
剰余金の配当							△880	△880
当期純利益							1,549	1,549
自己株式の取得								
自己株式の処分			13	13				
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	13	13	—	—	669	669
当期末残高	5,279	6,808	13	6,822	679	2,930	13,701	17,311

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△394	28,336	3,250	3,250	31,587
当期変動額					
剰余金の配当		△880			△880
当期純利益		1,549			1,549
自己株式の取得	△0	△0			△0
自己株式の処分	9	22			22
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			431	431	431
当期変動額合計	8	691	431	431	1,122
当期末残高	△385	29,027	3,682	3,682	32,709

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	5,279	6,808	13	6,822	679	2,930	13,701	17,311
当期変動額								
剰余金の配当							△867	△867
当期純利益							1,067	1,067
自己株式の取得								
自己株式の処分			2	2				
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	2	2	—	—	200	200
当期末残高	5,279	6,808	15	6,824	679	2,930	13,901	17,511

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価 証券評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△385	29,027	3,682	3,682	32,709
当期変動額					
剰余金の配当		△867			△867
当期純利益		1,067			1,067
自己株式の取得	△1,005	△1,005			△1,005
自己株式の処分	20	22			22
株主資本以外の項目の当 期変動額(純額)			2,026	2,026	2,026
当期変動額合計	△984	△782	2,026	2,026	1,244
当期末残高	△1,370	28,245	5,708	5,708	33,953